



魅力ある農業経営を目指し

松浦青年農業者会が焼耐用の麦を栽培、初めての収穫を迎えました。

Interview

前田 裕治ゆうじさん

松浦青年農業者会会長

松浦青年農業者会は、農業に従事する市内の若手農業者が集まり、農業技術の向上や後継者づくりを目指し、平成16年11月に発足しました。現在のメンバーは11人。県北振興局農林部技術普及課と連携し、共同活動による試験栽培の実施や、小学生を対象とした食育活動を通じた農業普及などを行っています。「酒の一斗」池野晋一さんの紹介で焼耐用の二条大麦の栽培を計画し、昨年11月ごろに約1畝の畑に種をまいた後、麦踏などを行って、5月21日ようやく収穫を迎えました。

LOSE UP!
まっくら 輝キラリ人



◎ PROFILE

前田 裕治さん
(御厨・木場、28)
農業を営む。平成16年に数人と一緒に同会を発足。22年から同会の会長を務める。趣味はバスケットボール。

Q 麦を栽培するきっかけは？

A 昨年2月、国の補助を受け、星鹿町北久保免の耕作放棄地となり荒れていた畑を借りて、重機やチェーンソーを使って畑に再生。活用方法を模索していたところ池野さんから大麦の栽培の依頼を受けました。

Q 麦を栽培した感想は？

A 初めて麦を作りましたが、県の指導を受けながら皆で麦踏などを行い、何とか収穫までこぎつけることができました、うれしいです。

Q 麦の出来はどうですか？

A 麦の实の入りはまずまずでしたが、収量は、凍害や湿害などにより、当初見込んでいた約4トンの7割程度の約3トでした。

Q 収穫した麦の活用方法は？

A 収穫した麦は、梅ヶ枝酒造(佐世保市)に運ばれ、半分は麦焼酎「つんなもや」の原料、残りは新しい焼酎が作られる予定です。新しい焼酎の名前は同会に考案を依頼されており、自分たちが作った麦で作られた焼酎を飲んでみるのが楽しみです。

Q 今後の活動予定は？

A 次は焼耐用のサツマイモ「春小金」の作付けを検討中です。

野菜も栽培し、地産地消のために作られた直売ネットワークを活用し、学校給食の食材として納入するほか、市場への販売も考えています。

また、御厨小学校での食育活動も実施予定です。



フィオナ・マニング
Fiona・Manning
オーストラリア出身

新緑がピークを迎えた5月。私は熊本県にある五木村という日本らしい風情がたくさん残る集落を訪れました。全国的に有名な「五木の子守唄」で知られるこの村は、新緑の美しい谷間を蛇行する清い流れの川辺川のほとりにありました。

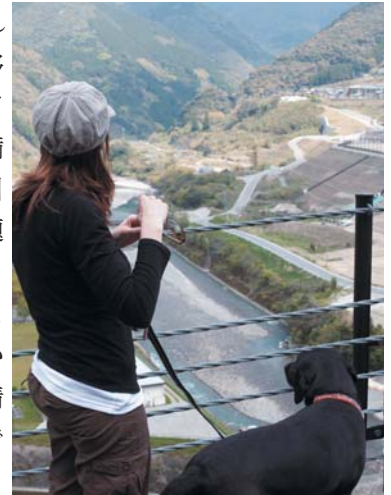
親しみやすい村の人たちにもたくさんお世話になり、日本でも珍しいという自家製の川海苔を初めて食べさせてもらいました。普通の海苔よりも味が口の中にずっと残る深い味で、ご飯と一緒に食べると最高でした。全国でもここのお店でしか手に入らないと聞きました。

この村にいとオーストラリア人の私でも、どこか懐かしい気分させてくれる不思議な心境でした。

でも写真のように昔あった頭地という集落が、ダム建設によってほとんど移動させられたと聞きました。川辺川ダム建設は新しい政党に変わって中止するとニュースで聞いたことがありますが、訪れた時も周辺の工事があっているようでした。

先祖代々受け継がれた土地をあきらめて移り住んだ人々、そして新しくなった街と整備された道路…もはや引き返せない複雑な問題だと思いました。

是非またいつかここを訪れたいと思っていますが、いつまでも清く美しいこの流れであってほしいです。



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『**新編**』氷川清話
勝海舟の政治観と幕末維新の裏面史
高野澄/PHP研究所

幕府崩壊末期に卓越した手腕を発揮した勝海舟が残した言葉を紹介。齒に衣着せず語った辛辣な人物評、痛烈な時局の数々を、わかりやすい新訳で解説します。



『定年、そして10万時間』
上鶴瀬孝志/角川学芸出版角川出版企画センター

定年後には、サラリーマン人生に等しい10万時間という自由が約束されています。独自の「リセット力」を養って、明るく生き抜けるよう、この先の10万時間の過ごし方を提案します。



『子どもを上手に叱っていますか?』
ロバート・J・マッケンジー著 森かほり訳/筑摩書房

子どもに「ダメ」と言うとき、それはちゃんと伝わっていますか? 叱るつもりがどなりがち、諭すつもりが飲まれがち。そんな親に向けて、子どもに優しく毅然と接しながらルールを教える方法を解説します。



『君が地球を守る必要はありません
(14歳の世渡り術)』
武田邦彦/河出書房新社

CO2は悪者なの? リサイクルなんて意味無い? 地球は暖かくなならない? テレビや先生が教えるエコ常識はゴミ箱へ! 環境問題の「ウソ」を正し、本当の知識を紹介します。



『おねえちゃんってふしぎだな』
北川チハル/あかね書房

ちーこちゃんのおねえちゃんは、とっても強くて賢い。そんなおねえちゃんとお使いに行ったちーこちゃんは、いつもと違うおねえちゃんの姿を見て…姉妹の心の触れ合いを温かく描く幼年童話です。



『おすしの さかな (しぜんにタッチ!)』
ひさかたチャイルド

お皿の上のまぐるも、もとは3mもある巨大な魚。広い海を元気にぐいぐい泳いでいました。色々な魚介類がおすしになるまでを写真で紹介。楽しく知るうちに、食べ物や命への感謝が生まれてくる本です。